

[注意事項]

本件物件番号1及び2の各物件は共有持分
についての売却です。買受人は当該各物件を
当然に使用収益できるとは限りません。

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 7 月 28 日

名古屋地方裁判所民事第 2 部

裁判所書記官 井 畑 弥 雄

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 8 月 12 日から 令和 8 年 8 月 19 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 場 所 令和 8 年 8 月 26 日 午前 9 時 30 分 名古屋地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 場 所 令和 8 年 9 月 9 日 午前 9 時 50 分 名古屋地方裁判所民事第 2 部
特別売却 実施期間	令和 8 年 9 月 2 日 午前 9 時 00 分から 令和 8 年 9 月 2 日 午後 4 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 7 月 28 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	5,940,000 4,752,000	一括	1,188,000	127,764	36,153
1	3,480,000				
2	2,460,000				
備考					



物 件 目 録

1 所 在 名古屋市千種区宮根台二丁目

地 番 1201番

地 目 宅地

地 積 162.39平方メートル

持分3分の1

2 (一棟の建物の表示)

所 在 名古屋市千種区宮根台二丁目 1201番地、1202番地、1203番地、1204番地

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建

床 面 積	1階	92.50平方メートル
	2階	302.05平方メートル
	3階	166.70平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 宮根台二丁目 1201番の1

建物の名称 A

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建

床 面 積	1階	20.05平方メートル
	2階	73.31平方メートル
	3階	40.43平方メートル

持分3分の1



物 件 明 細 書

令和 8年 6月18日

名古屋地方裁判所民事第2部

裁判所書記官 井 畑 弥 雄

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者Aが占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1, 2】

本件各物件は共有持分についての売却であり、買受人は、本件各物件を当然に使用収益できるとは限らない。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ



4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 所 在 名古屋市千種区宮根台二丁目

地 番 1201 番

地 目 宅地

地 積 162.39 平方メートル

持分 3 分の 1

2 (一棟の建物の表示)

所 在 名古屋市千種区宮根台二丁目 1201 番地、1202 番地、1203 番地、1204 番地

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建

床 面 積	1 階	92.50 平方メートル
	2 階	302.05 平方メートル
	3 階	166.70 平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 宮根台二丁目 1201 番の 1

建物の名称 A

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建

床 面 積	1 階	20.05 平方メートル
	2 階	73.31 平方メートル
	3 階	40.43 平方メートル

持分 3 分の 1



令和 7 年(又)第 184 号

令和 8 年 1 月 22 日受理

令和 8 年 2 月 9 日提出

現 況 調 査 報 告 書

名古屋地方裁判所

執行官 成 田 慎 一

物 件 目 録

1 所 在 名古屋市千種区宮根台二丁目

地 番 1201 番

地 目 宅地

地 積 162.39 平方メートル

共有者 持分 3 分の 1

2 (一棟の建物の表示)

所 在 名古屋市千種区宮根台二丁目 1201 番地、1202 番地、1203 番地、1204 番地

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建

床 面 積	1 階	92.50 平方メートル
	2 階	302.05 平方メートル
	3 階	166.70 平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 宮根台二丁目 1201 番の 1

建物の名称 A

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建

床 面 積	1 階	20.05 平方メートル
	2 階	73.31 平方メートル
	3 階	40.43 平方メートル

共有者 持分 3 分の 1

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	名古屋市千種区宮根台二丁目12番1号		
建 物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主である建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者（共有者「債務者」） ☐ その他の者 上記の者が本建物（居宅）を空き家の状態で、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
管理費等の状況	☐ のとおり 管理費 修繕積立金	円 円 円 円	令和 年 月 日現在 ☐ 滞納はない ☐ 滞納がある 年 月分～ 年 月分 計 円 ☐ 不明
管理費等照会先	電話 ()		
その他の事項	持分3分の1		
土 地	物件1		
現況地目	☒ 宅地（物件 1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形 状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図（概略）のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者（共有者2名） ☐ その他の者 上記の者が本土地上に上記区分建物を所有（共有）し、敷地として使用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項	持分3分の1		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある	地方裁判所 保管開始日 令和 年 月 日	支部 令和 年 () 第 号
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図（概略）のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ 債権者代理人	物件2建物の間取図はありませんが、1棟の建物の別の区分所有建物の間取図がありますので、参考にFAX送信します。
■名古屋市栄市税事務所職員	物件2建物は昭和55年建築で古い建物のため、家屋平面見取図があるか探してから、またご連絡します。
■ 債権者代理人	債権者は、持分3分の2を持っていますが、物件2建物は債務者が使用しています。 物件2建物を区分所有していても、同建物を含む1棟の建物との関係で、管理費等、定期的に費用を負担するという事はないです。
■近隣の者（1棟の建物の区分所有建物居住者）	区分所有建物を所有するに当たり、管理費等定期的に負担するものはありません。 区分所有建物を所有するについて、他の区分所有建物の所有者らとの間で取り決めは何もしていません。 基本的に自分の所有する区分所有建物をどうするかは所有者が決めます。例えば、建物を壊すことはできませんが、外壁の色を塗り替えるのも制約はありません。 自分の家と隣家との堺は、壁の真ん中だと思います。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 物件2建物を含む1棟の建物は、全部で4戸の区分所有建物からなる物件である。
物件2建物を含む1棟の建物の敷地（1201番・1202番・1203番・1204番）は北側及び西側を道路に各面している。
物件2建物は、同1棟の建物の西端に位置する（物件1土地上）。なお、同土地南側隣地（1238番）は、東隣隣家（1202番・1203番）が共有する土地である。
- 2 物件2建物は、昭和55年9月新築の地上3階建の物件で、1階は車庫、2階及び3階は居宅となっている。
物件2建物に特にメンテナンスされている様子は窺われず、外部は、玄関の底に塗装の剥がれた箇所、階段のタイルに破損、外壁やベランダの壁や柵は錆や汚れが目につき、ベランダの床には土や葉っぱが溜まっていた。室内は、浴室の扉のガラスが割れている（添付の写真⑩参照）、3階廊下の床材に損傷、洋室3の天井に雨漏りの跡（添付の写真⑦参照）、同洋室3の床材に広い範囲で黒ずんだ汚れがある等のほか、部屋の所々にはカビが生えている等、同建物は、築年数を考慮しても、保存状態は著しく悪いと思われた。
- 3 債務者に対しては、自宅を訪問したが不在のため事務連絡文書を差し置いたり、調査期日の通知書のほか照会文書を送付したが、何ら応答はない。
物件2建物は、長期間放置されているものと思われ、周囲は樹木や雑草が生えっぱなしの状態であり、内部は自動車のほか、家財道具等が大量に残置している。
債権者は、物件1土地及び同2建物の持分を3分の2所有している。債権者によれば、同建物は債務者が使用していたものと認められる。
物件2建物のライフラインは停止しており、現在、債務者を含め同建物で人が寝食している様子は窺われない。
上記の状況等から、物件2建物は、現在、債務者が空き家の状態で占有しているものと認めた。
- 4 物件1土地の周囲に一見して杭や鉾は確認できなかったが、付近に設置された塀等の状況、隣地や道路との位置関係等から、同土地の形状については、土地建物位置関係図（概略）のとおりのもものと認めた。
物件1土地及び同2建物に関する法令上の制限及び土壌汚染の可能性の有無については、評価人の評価書参照
- 5 その他の本件調査結果は、本報告書2枚目から3枚目のとおりである。

以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
R8年1月22日 (木) 16:20-16:35	物件所在地	現地確認, 写真撮影
R8年1月23日 (金) 11:30-11:50	名古屋市栄市税事務所	家屋平面見取図写し交付申請, 職員から聴取
R8年1月23日 (金) 17:00-17:20	債務者住所 (天白区)	全戸不在につき, 事務連絡文書差し置き (応答なし)
R8年1月26日 (月)	郵 便	債務者に対し, 現況調査日連絡書及び照会文書送付 (応答なし)
R8年1月27日 (火) 11:40-11:50	電 話	債権者代理人から聴取
R8年1月27日 (火) 15:30-15:40	名古屋法務局	公図及び建物図面各取り寄せ
R8年1月28日 (水) 13:10-13:20	名古屋市栄市税事務所	家屋平面見取図写し受領
R8年1月30日 (金) 16:40-16:50	電 話	債権者代理人から聴取
R8年1月31日 (土) 10:00-10:50	物件所在地	物件1土地及び物件2建物の立入調査, 写真撮影, 近隣の者から聴取, 評価人同行
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和8年1月31日 目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人を立ち合わせ, 技術者に解錠させて建物内に立ち入った。		

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図（概略）

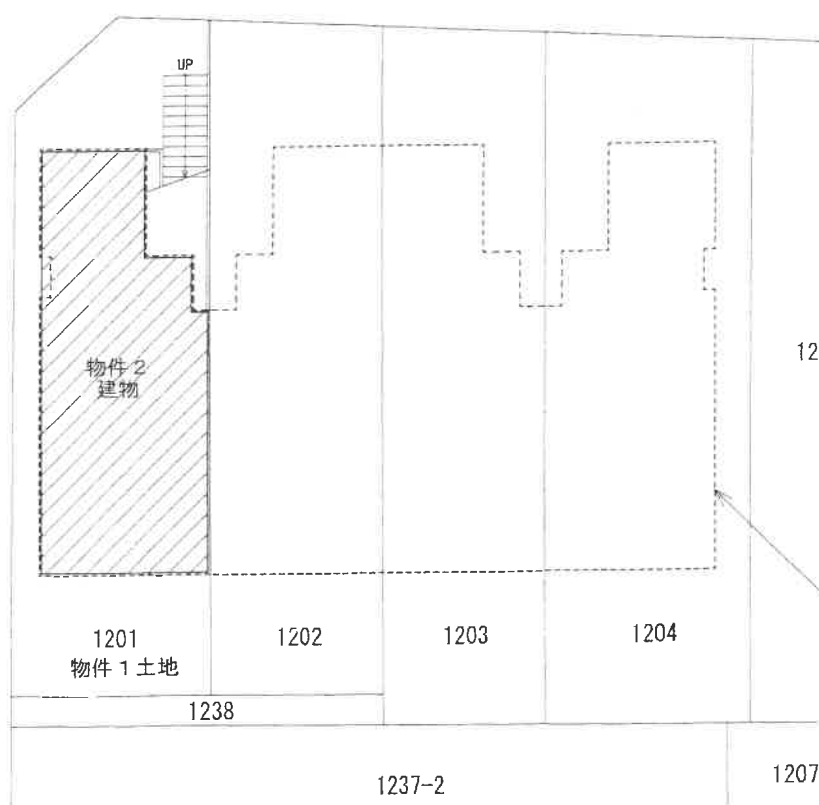


①

③

14 道路

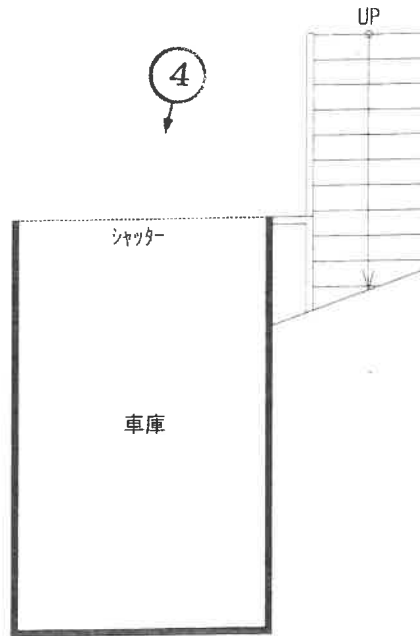
13
道
路



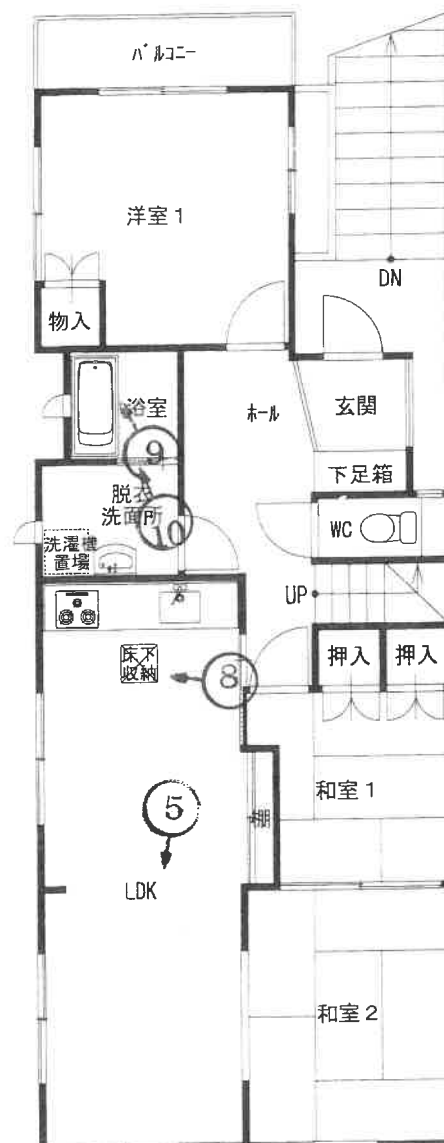
物件2 建物を含む
一棟の建物

②

間取図（概略）



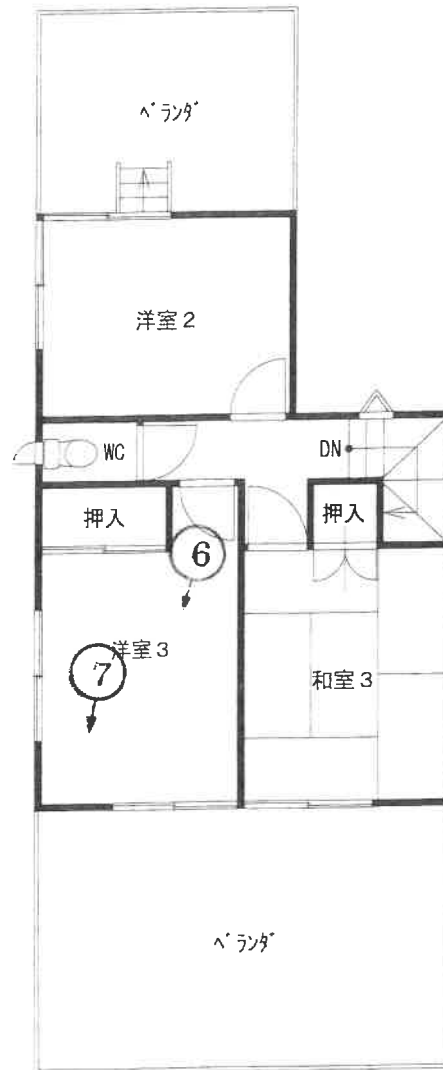
1 階



2 階

写真撮影方向を矢印で示す
○内写真番号

（ 7 枚目）



3階

①

物件1土地及び同2建物

(北東より撮影)



②

同 上

(南西より撮影)



③

物件 2 建物を含めた1棟の建物及び敷地の状況（北東より撮影）



④

車庫



（10枚目）

⑤

リビング



⑥

洋室 3



⑦

洋室 3 の天井の状況



⑧

キッチン



⑨

浴室



⑩

浴室の扉のガラスの状況



(13枚目)



令和7年（ヌ）第184号
令和8年1月26日受理
令和8年1月31日現地調査
令和8年2月19日評価

名古屋地方裁判所民事第二部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

角 谷 英 之

第1 評価額

一 括 価 格	
金 5,940,000 円	
内 訳 価 格	
物件1 (土地)	金 3,480,000 円
物件2 (建物)	金 2,460,000 円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための敷地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該敷地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、競売の目的物の種類又は品質に関する不適合については担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更は考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	名古屋市千種区宮根台二丁目 1201番 宅地 162.39平方メートル 共有者 持分3分の1	同左
2	所 在 構 造 床 面 積 家 屋 番 号 建物の名称 種 類 構 造 床 面 積	(一棟の建物の表示) 名古屋市千種区宮根台二丁目 1201番地、1202番地、 1203番地、1204番地 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 92.50平方メートル 2階 302.05平方メートル 3階 166.70平方メートル (専有部分の建物の表示) 宮根台二丁目 1201番の1 A 居宅 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 20.05平方メートル 2階 73.31平方メートル 3階 40.43平方メートル 共有者 持分3分の1	同左
番号	特 記 事 項		
	なし		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	地下鉄名城線「茶屋ヶ坂」駅 東方 道路距離約1,800m 名古屋市営バス「香流橋」停 南方 道路距離約360m (附属資料「位置図」参照)	
付近の状況	一般住宅、共同住宅等が建ち並ぶ、周辺に学校も見られる住宅地域	
主な公法上の規制等(道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第一種低層住居専用地域 40% 80% — 10m高度地区、外壁後退距離：1.0m、緑化地域 都市機能誘導区域外、居住誘導区域内（要安全配慮区域）、宅地造成等工事規制区域内
画地条件	地積 形状 間口・奥行	162.39㎡ ほぼ長方形 間口 約7m、奥行 約23.5m
接面道路の状況	北側で幅員約11mの舗装市道にほぼ等高に接面し、西側で幅員約11mの舗装市道に0～約1.5m高く接面している。 (いずれも建築基準法第42条1項1号道路)	
土地の利用状況等	物件2を含む一棟の建物の敷地として利用されている。隣接不動産の状態は、北側及び西側は市道、南側は通路（私有地）を介して一般住宅、東側は本件区分所有建物の専有部分（居宅）である。	
供給処理施設 (敷地内引込の有無を基準としている)	上水道 あり ガス配管 あり 下水道 あり	
土壌汚染の可能性の調査	土壌汚染の可能性について過去の住宅地図を昭和36年まで遡って調査した結果、当該物件が建設される以前は未利用地等であったと推定される。汚染の原因となる物質を含むかは不明であるが、本件土地は土壌汚染対策法に基づく要措置区域・形質変更時要届出区域には該当していない。	
特記事項	・本件土地には物件2の専有部分が存在しているほか、区分所有建物の共用部分（躯体等）が存するものと解される。 ・東側隣接土地（地番1202番の土地）との境界線上に、物件2の専有部分と東側に隣接する専有部分の界壁（一棟の建物の共用部分に該当する）が存在するものと推測されるが、東側隣接土地との境界が必ずしも明確ではないため、専有部分の界壁が現実隣接土地の境界線上にあって、専有部分が互いに隣地へ越境していない状態にあるとは言い切れない。 ・本件土地上の樹木の枝葉が隣地へ越境している。 ・本件土地について周知の埋蔵文化財包蔵地の指定はない。 ・名古屋市備え付けの内水氾濫ハザードマップ（千種区）によれば、本件土地は内水氾濫の浸水の予想される区域（浸水深0.3m未満）に該当する。	

2 建物の概況（物件2）

（1）一棟の建物の概要

建築時期及び 経済的残存耐 用年数	建築年月日（登記記載）昭和55年9月12日新築 経過年数 約45年 経済的残存耐用年数 経済的耐用年数をほぼ満了していると判断した。	
構造	鉄筋コンクリート造3階建	
仕様	屋根 陸屋根 外壁 吹付タイル等 その他 ー	
床面積（現況）	第3 目的物件の表示に同じ	
現況用途等	居宅	
品等	普通	
保守管理の状 態	普通	
建物の利用状 況	「現況調査報告書の記載のとおり」	
特記事項	・ 本件建物は4戸連棟式の区分所有建物である。一棟の建物の敷地は4筆からなり、各専有部分の所有者が各土地を所有している。 ・ 関係者によれば、一棟の建物の管理等について規約や取り決め等はなく、管理は専有部分の所有者で各々行っているとのことである。	

(2) 専有部分の概要

構 造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	
位 置	西端	
仕 様	天 井 床 内 壁 設 備 そ の 他	クロス等 フローリング、畳等 クロス等 電気・水道・ガス等 なし
床面積(現況)	第3 目的物件の表示に同じ	
間 取 り	間取り 6LDK+車庫 附属資料6 建物間取図のとおり	
品 等	普通	
保守管理の状 態	劣る	
建物の利用状 況	「現況調査報告書の記載のとおり」	
特 記 事 項	・ 建物は建築後相当年数が経過しており、適切な維持管理がなされていないため、建物内の老朽化が著しい。 ・ 室内には、家財その他の物品が散乱している。また、床面の傷みが随所に見られる。 ・ 区分所有建物の共用部分は単独で取り壊しができない。 ・ 建築年から推測すると、アスベスト含有建材等の使用に留意を要する。 ・ 本件建物は新耐震基準が施行される以前に建築された建物であり、新耐震基準に適合しているか否かは不明である。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地 価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付 減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	177,000	1.03	162.39	0.9	26,640,000

特に注記ない場合、計算結果の数値は万円未満を四捨五入する端数処理を行った。
(以下同じ)

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 名古屋千種-10

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 195,000\text{円/㎡} & \times & 101.7/100 & \times & 100/105 & \times & 100/107 & = & 177,000\text{円/㎡} \\ & & & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)} \end{array}$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：方位 1.05

◇地域格差：交通、環境条件格差等を考慮。

イ 個別格差：角地 1.03

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地の適応の状態等を考慮。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	専有面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	240,000	133.79	0.02	640,000

イ 専有面積：登記数量による。

ウ 現価率 = $[\text{残価率}3\% + (1 - \text{残価率}3\%) \times \{ \text{経済的残存耐用年数}0\text{年} / (\text{経済的残存耐用年数}0\text{年} + \text{経過年数}45\text{年}) \}] \times (1 - \text{観察減価等}20\%) = 0.02$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については敷地利用権等価格を控除し、建物については敷地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 敷地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	敷地利用権等割合 イ		敷地利用権等価格 (円) ア×イ
1	26,640,000	0.4	場所的利益	10,660,000

イ 敷地利用権等割合：敷地利用権等を場所的利益と判定し、その割合を40%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる 価格 (円) ア	敷地利用権 等価格の控 除及び加算 (円) イ	個別 格差 ウ	占有 減価 修正 (円) エ	持分 割合 オ	市場 性修 正 カ	競売 市場 修正 キ	評価額 (円) {(ア±イ)×ウ -エ}×オ ×カ×キ
1	26,640,000	-10,660,000	1.02		1 / 3	0.8	0.8	3,480,000
2	640,000	+10,660,000		0	1 / 3	0.8	0.8	2,460,000
一括価格（合計）								5,940,000

ウ 個別格差：位置補正 1.02 × その他補正 1.00 = 1.02

エ 占有減価修正：必要なし。

オ 持分割合：登記上の共有持分割合による。

カ 市場性修正：本件は持分のみ対象であること、また本件土地は区分所有建物の共用部分が存在する土地であること等による市場性の減退を考慮した。

キ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

地価公示価格（名古屋千種-10）

所 在 : 名古屋市千種区光が丘2丁目1215番
価 格 : 195,000円／m²
位 置 : 地下鉄名城線「自由ヶ丘」駅の北東方道路距離約1,400m
価格時点 : 令和7年1月1日
地 積 : 247m²
供給処理施設 : ガス、水道、下水
接面街路 : 南西側幅員8.0m市道に接面
用途指定等 : 第一種低層住居専用地域（建ぺい率40%、容積率100%）
地域の概要 : 中規模一般住宅が建ち並ぶ丘陵地の住宅地域

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 付近案内図
- 3 公図写
- 4 建物図面・各階平面図写
- 5 土地建物配置図（概略）
- 6 建物間取図（概略）
- 7 現況写真

位置図



付近案内図



A 4 判に縮小



地番
区域見出

宮根台 2 丁目

A 光が丘 1 丁目

請求部	所在	名古屋市千種区宮根台二丁目				地番	1201番			
出力縮尺	1/500	精度区分	甲二	座標系 番号又は 記号	分類	地図(法第 14 条第 1 項)		種類	土地区画整理所在図	
作成年月日	昭和61年5月3日				備付年月日 (原図)			補記事項		

建 物 園 地

家屋番号 1201-1 ~ 1201-4

名古屋市十種区猪間町大字猪間
名古屋市十種区猪間町大字猪間

一棟の建物
名古屋市中区宮坂二丁目 / 番地、(202 番地)
十番1、1番8、1番9) 番地 (203 番地)

1 階 求 積

$$8.70 \times 5.80 = 21.4600$$

$$7.40 \times 6.70 = 49.5800$$

$$3.70 \times 5.80 = 21.4600$$

計	92.5000
---	---------

床面積 92.50 m²

積求隨2

$$8.70 \times 8.70 = 18.6900$$

$$7.40 \times 3.70 = 27.3800$$

$$8.70 \times 8.70 = 18.6900$$

$$1.00 \times 28.40 = 28.40$$

812.1800

$$1.40 \times 0.40 \times 2 = 1.1200$$

$$1.90 \times 145 \times 2 = 55100$$

$$290 \times 120 = 34800$$

101100 計

$$812.1600 - 10.1100 = 802.0500$$

床面積 302.05 m^2

3 階 求 積

$$8.30 \times 8.70 \times 2 = 61.4200$$

$$5.50 \times 8.80 \times 2 = 41.8000$$

$$6.50 \times 0.50 \times 2 = 6.5000$$

$$8.80 \times 8.10 \times 2 = 51.4600$$

$$4.60 \times 1.20 = 5.5200$$

166.7000	+
----------	---

床面積 166.70 m^2

作者

縮尺

人
體
中

箱尺 $\frac{1}{250}$

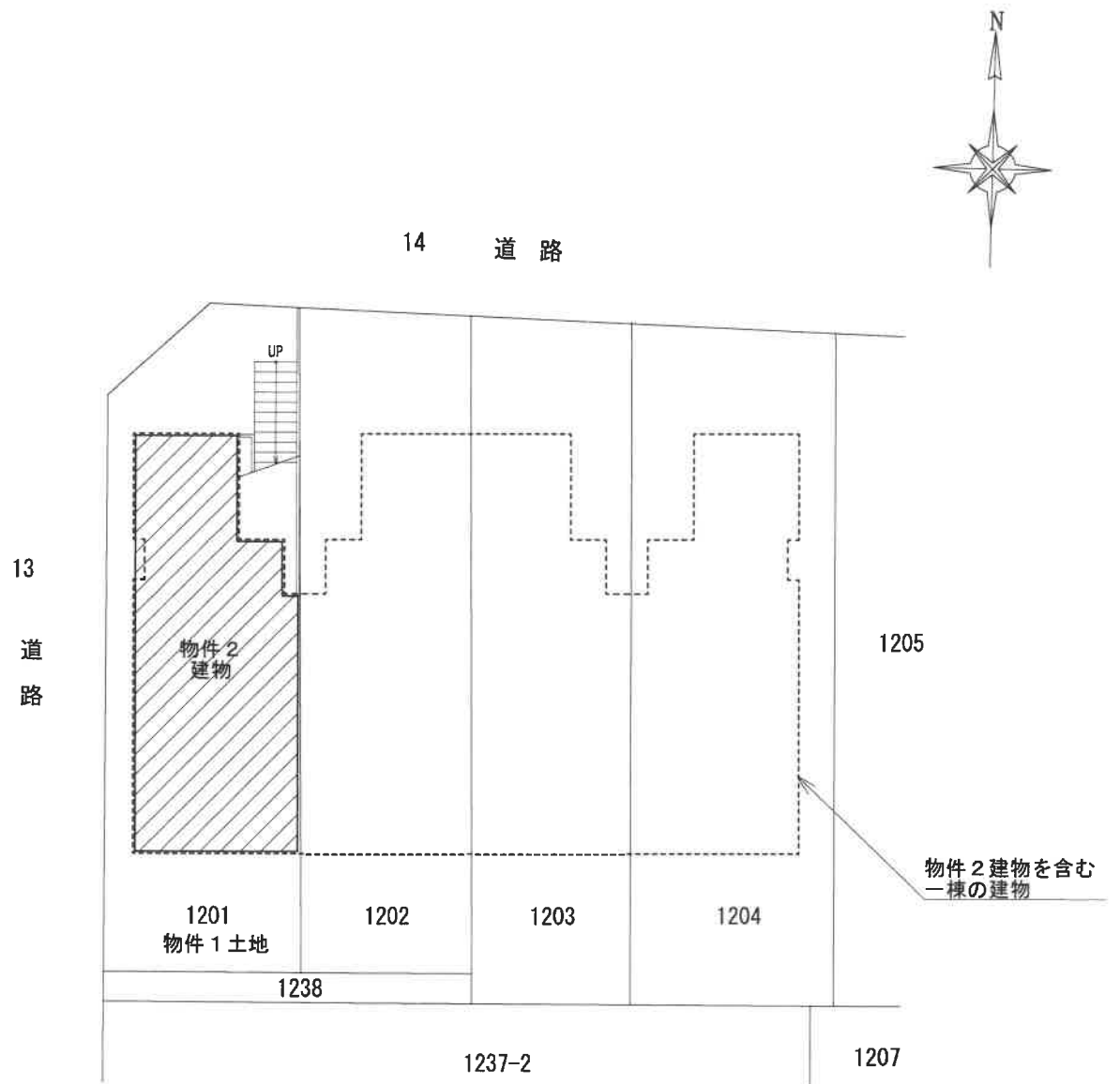
93
姓

(2/2)

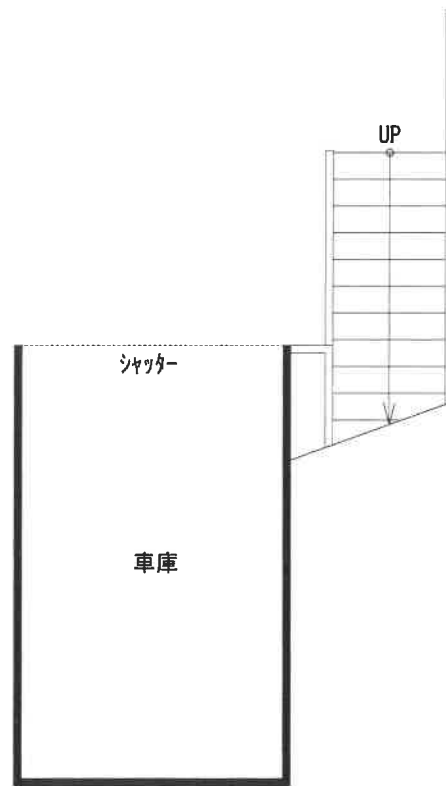
A 4 判に縮小

556218

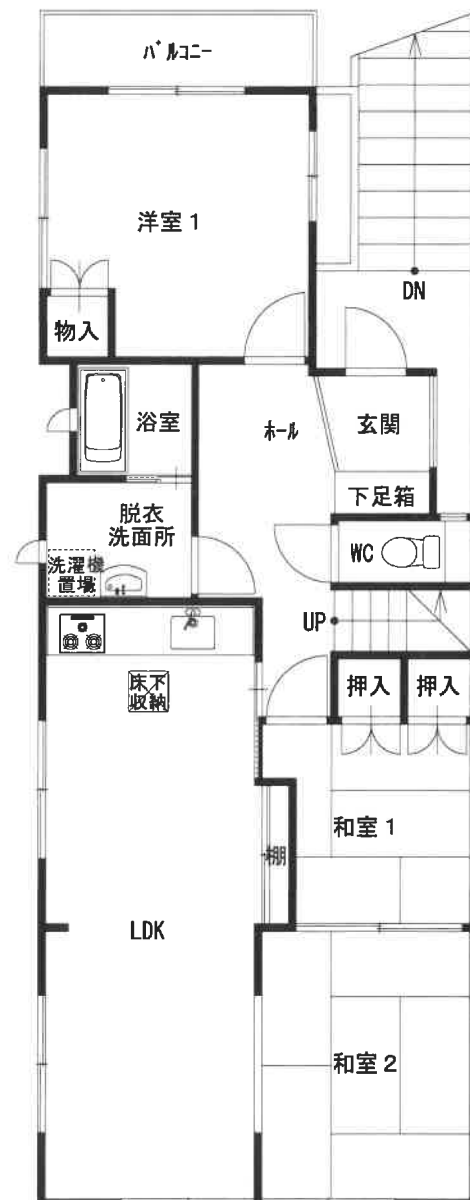
土地建物配置図(概略)



建物間取図(概略) 1/2

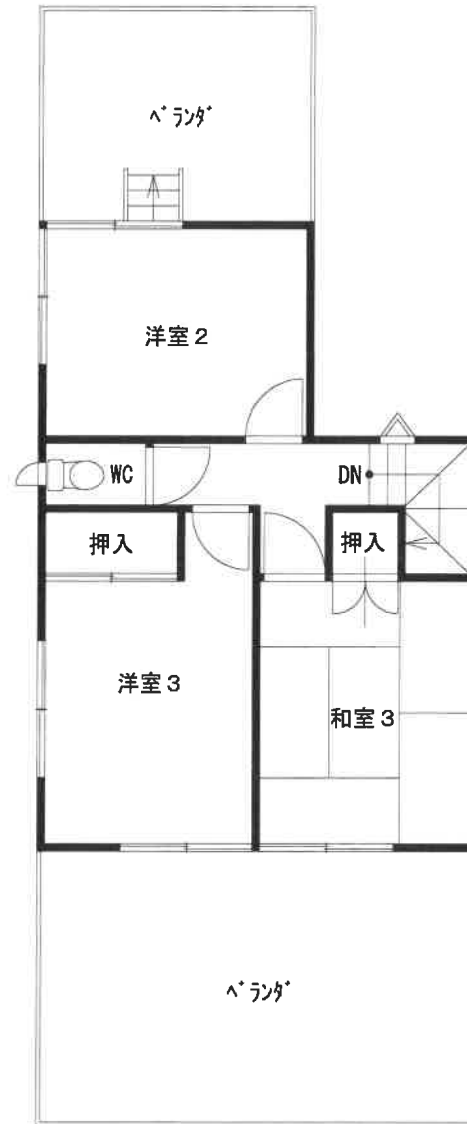


1階



2階

建物間取図(概略)
2/2



3 階

①

物件2建物を含む一棟の建物



物件2建物を含む一棟の建物

②

